

権威ある「日本生化学会」において “肌寿命に関わる遺伝子メカニズム”の 発見を学会発表いたしました。

2018年9月24日(月)～26日(水)、国立京都国際会館にて
「第91回日本生化学会大会」が開催されました。この大会において、
アテニアが発表した内容についてご報告させていただきます。



肌の寿命に関わる遺伝子 「サーチュイン6」の新たな機能を発見しました。

長年の老化に関わる遺伝子研究の結果、長寿遺伝子「サーチュイン6」のこれまで知られていた“紫外線に対する細胞修復機能”の他に、新たに“細胞内の不要なタンパク質を排出する機能”を見出し、権威ある「日本生化学会」で学会発表いたしました。老化抑制のためには、加齢で発生する“異常タンパク質（損傷したミトコンドリアを含む）の除去”に関わる長寿遺伝子「サーチュイン6」に働きかけ、細胞エネルギーを活性化することが有効であるという事実に辿り着きました。



アテニアはこの学会発表に基づき、「次世代エイジングケア」商品に応用してまいります。

アテニアは、肌寿命を司る遺伝子「サーチュイン6」に新たなエイジングケアの活路を見出し、この遺伝子に働きかける新たな「次世代エイジングケア」化粧品の開発に取り組んでいます。



公益社団法人 日本生化学会

疾病の根本原因を体内で見出す探究が目的で、医化学研究者のために設立され、日本の学会の中でも約100年という長い歴史を誇る。会員は約8,000名。生体での機能低下の原因探究を行っており、今回、アテニアは「老化における細胞機能と遺伝子の関わり」の発見にふさわしい学会として発表に至った。